月刊 工連ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS

毎年７月は「県産品奨励月間」・10月は「沖縄の産業まつり」です。

沖縄県産品マーク



- 第40回沖縄の産業まつり
- 「元気カンパニー」（株）沖縄海洋工機開発
- ポリテックフェスタ2016のご案内
- 「働き方改革」に向けた取組に関する要請

2016
11月号
Vol.624

おいしい幸せ
オキコ

ファミリーサンド

マーガリン入り

Family Sand

のせて、
はさんで
ひろがる スマイル





月刊 工連ニュース 11月号 2016
OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS
Vol.624

2〜7p じょうとーむん 使うよろこび 県産品
第40回沖縄の産業まつり開催

第40回沖縄の産業まつり 受賞商品の紹介
●第45回沖縄県発明くふう展
●平成28年度沖縄県推奨優良県産品

第40回沖縄の産業まつり 協賛企業

※写真は会場の様子です。







8・9p キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
オーダーメイドで創り出す 大きな付加価値
株式会社沖縄海洋工機開発

10p **丸正印刷株式会社 創業50周年記念祝賀会**

11p **泡盛きき酒会及び琉球泡盛の夕べ**
沖縄県酒造組合

12p 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
海洋ロボット開発と人材育成について

13p 沖縄高専だより
「やんばるの産業まつり」と「沖縄の産業まつり」に出展しました

14p 沖縄職業能力開発大学校
沖縄ポリテックフェスタ2016のご案内

15p 工業技術センターだより
機能評価研究に関係する機器のご案内

16p **「働き方改革」に向けた取組に関する要請**

2016年10月 工連日誌

- 2日(日) 平成28年度公害防止等国家試験　試験監督員
  ●時間／8:00〜18:00　●場所／沖縄産業支援センター
- 4日(火) 第40回沖縄の産業まつり 出展者説明会
  ●時間／14:00〜15:30　●場所／沖縄都ホテル
- 5日(水) 第40回沖縄の産業まつり 県立武道館出展団体調整会議
  ●時間／14:00〜15:00　●場所／沖縄産業支援センター
- 7日(金) 第40回沖縄の産業まつり 派遣職員説明会
  ●時間／10:30〜11:00　●場所／沖縄産業支援センター
- 21日(金) 第40回沖縄の産業まつり開催(〜23日)
  ●時間／10:00〜20:00(屋外展)　●場所／奥武山公園
  ●時間／10:00〜19:00(屋内展)　●場所／県立武道館

知財総合支援窓口運営業務
知財総合支援窓口
相談無料　秘密厳守
中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。
個別対応のため予約が必要です

ワンストップサービス
■知財専門家が窓口に常駐
■知財専門家を派遣
■知財ニーズの掘り起こし
■知財に関する支援策の紹介
■インターネット出願を支援

中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆さまの特許、実用新案、意匠、商標、著作権等に関するご相談を無料でお受けしております。
※ご相談いただいた内容が第三者に知られる事はありません。
※詳しい日時に関してはお問合せください。

まずはお気軽にご連絡ください!!



●うるま窓口(うるま) 毎 週 月〜金(祝祭日を除く)／9:00〜17:00
●外部窓口(那　覇) 毎 週 火・水(祝祭日を除く)／9:00〜17:00
●外部窓口(名　護) 毎 月 第４火曜日／ 9:00〜17:00
●外部窓口(宮　古) 奇数月 第４金曜日／10:00〜17:00
●外部窓口(八重山) 偶数月 第４金曜日／10:00〜17:00

全国共通お問い合わせ先
ナビダイヤル 0570-082100（有料） TEL 098-995-8778
■独立行政法人 工業所有権情報・研修館事業／実施：一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail／info@okikouren.or.jp　ホームページ／http://www.okikouren.or.jp

発 行 所 ／公益社団法人　沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191　FAX(098)859-6193
編集・印刷／有限会社サン印刷　電話(098)889-3679

じょーとーむん 使うよろこび 県産品
第40回「沖縄の産業まつり」開催

第40回沖縄の産業まつりが10月21日(金)、22日(土)、23日(日)の3日間の日程で那覇市の奥武山公園及び県立武道館を会場に開催されました。今年のテーマは「じょうとーむん　使うよろこび　県産品」となっており、県内各地から様々な特産品や新商品、工業製品が集まりました。今年は第40回目の節目となり、過去最大規模となる552企業・団体が出展。晴天にも恵まれ、3日間で延べ242,500人が来場しました。

初日に行われた開場式では、呉屋守章実行委員会会長(工業連合会会長)が「40回の歴史ある産業まつりをよりいっそう盛り上げ、沖縄の産業発展につなげたい」と挨拶。来賓として訪れた翁長雄志知事も、「沖縄の産業まつりは名実ともに沖縄県を代表する一大イベント。産業振興への貢献度も高く、40年の歴史の間関わってきたすべての人たちに感謝したい」と挨拶しました。

呉屋会長を中心とした実行委員会委員によるテープカットが行われ、第40回沖縄の産業まつりが華々しくスタート。式典前には那覇市内の保育園児たちによるちびっこエイサーやダンスパフォーマンスも華を添え、秋晴れの中笑顔あふれる開会式となりました。




沖縄総合事務局長
能登 靖


沖縄県知事
翁長 雄志


実行委員会会長
呉屋 守章






開催初日から最終日まで快晴に恵まれました。




開場に先立ち、沖縄県護国神社において「生産増強祈願祭」も厳かに執り行われました。

第1会場

沖縄県立武道館（アリーナ棟）

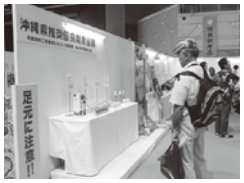
沖縄県立武道館（アリーナ棟）では、県内の優れた商品が展示される「沖縄県推奨優良県産品展」やかりゆしウェアをはじめとする衣料品がその場で取引可能となる「県産衣料品展示商談会」、県内企業の商品や活動実績が紹介される「沖縄県中小企業経営革新展」など多くの展示が行われました。

沖縄近海での次世代型海洋産業の研究開発や事業を紹介する「海洋産業特別展」、県産食品・工業製品の販路開拓・拡大を図るため主に海外に向けたＰＲを行う「沖縄県の加工食材・工業製品の海外展開促進事業展」、沖縄県の健康食品に対する認知を高めるための「全国ヌチグスイ化計画～沖縄の健康素材でいきいきと～」は今年初出展となり、いずれも多くの人で賑わっていました。

錬成道場棟では中小企業基盤整備機構沖縄事務所の商談会、アリーナ棟ステージでは沖縄県中小企業家同友会によるセミナーが開催された他、22、23日には沖縄高専の卒業生が起業し製作した歩行ロボットの展示・デモンストレーションも行われ、家族連れを中心に注目を集めていました。



海洋産業特別展（新）


沖縄県推奨優良県産品展


平成28年度
泡盛鑑評会出品酒一般公開


工芸感性価値事業展


第4回
輝くうちなぁ～企業見本市～




沖縄産の加工食材・工業製品の海外展開促進事業展（新）



中城湾港新港地区
モノづくり展


全国ヌチグスイ化計画　～沖縄の健康素材でいきいきと～（新）


沖縄県中小企業経営革新展


県産衣料品展示商談会


産学官技術連携展



第45回沖縄県発明くふう展


ものづくり・商業・サービス
革新展


地域の中小企業魅力発見展


スケルトニクス・ロボット展

第2会場

芝生広場横駐車場

市町村コーナーでは離島を含む各市町村からそれぞれの地域の特色、特産物を生かした加工品や料理、製品が販売されました。第19回商工会特産品フェア「ありんくりん市」では、商工会が実施するむらおこし事業等によって開発された特産品が来場者の目を引きました。泡盛、菓子、化粧品等ジャンルも様々で、幅広い世代が買い物を楽しみました。


市町村コーナー



県産品展示即売会




第19回商工会特産品フェア「ありんくりん市」

第③会場 サブグラウンド

県産建設資材等が展示される「県産建材・石材展」、野菜や果物等の農産物、畜産加工品、肥料、植木等が販売される農林産業展において県内企業の工夫を凝らした展示やイベントが行われました。「おきなわ技能展」では、ものづくりマイスター等による製作実演やものづくり体験が行われ、週末にはお手玉やペンケースを手作りする家族連れの姿も多く見られました。



県産建材・石材展


県産品展示即売会


農林産業展




おきなわ技能展

第④会場 川沿い

川に沿って多くのブースが並び、県内各地から集まった名産品や人気店のメニューが販売されました。産業まつり限定販売の商品や特別割引の商品を毎年楽しみにしているファンも多く、今年も賑わいを見せました。





県産品展示即売会
□食品飲料コーナー
□健康食品コーナー
□工芸・その他製品コーナー

第⑤会場 陸上競技場外・東側

毎年恒例となっているオリオンビアガーデンは、連日の暑さもあり、冷たいビールを求めて多くの来場者が足を運んでいました。夕方には民謡ライブも開催され、歓声が湧きました。




オリオンビアガーデン

第⑥会場 テニスコート北側

「陶器市（やちむんコーナー）」では、県内の伝統ある窯元の作品をはじめ、個性的な作品が一堂にあつまるとあって、活気に満ちたやちむん市が開催されました。また、沖縄電力の「オール電化体験車両」では、サーターアンダギーなどの調理実演、試食もありました。




オール電化体験



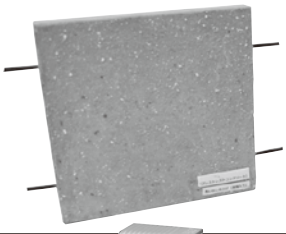
陶器市




第40回沖縄の産業まつり 受賞商品の紹介

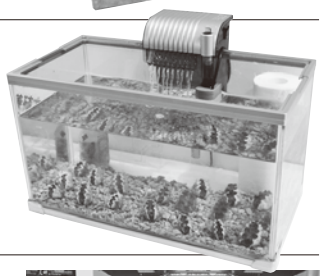
第45回沖縄県発明くふう展

【特許・実用新案の部】
沖縄県知事賞
最優秀賞



非主用構造部材用
プレストレストコンクリート
(株)HPC沖縄
☎098-989-5240

優秀賞



ヒメジャコの
陸上効率養殖方法
漢那一弘
☎(090)1942-6687

【意匠の部】
沖縄県知事賞
最優秀賞



基礎杭(製品名:琉球パラソル「RyuPara」[リューパラ])
(株)立神鐵工所 ☎098-856-4546

優秀賞



走行作業機用リッパー本体、
走行作業機用リッパー刀
金城一喜 ☎090-3790-8424

【特許・実用新案の部】
(一社)沖縄県発明協会会長賞



柑橘類由来のノビレチン及び
タンゲレチン含有物の製造方法及び
その方法で得られた
ノビレチン及びタンゲレチン含有物
(株)沖縄リサーチセンター
☎098-989-0504



スロープ対応
車椅子昇降装置
タイヤランド沖縄
☎098-898-5732



熱帯果樹用栽培ポットおよび
これを用いた熱帯果樹の栽培方法
伊良波長久
☎090-1942-1316

【意匠の部】
(一社)沖縄県発明協会会長賞

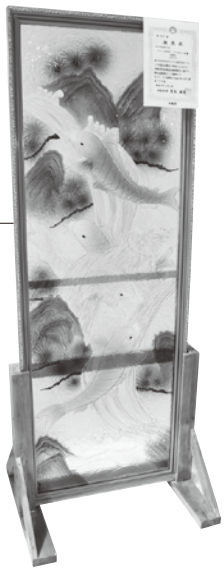


三線の糸巻
上原和雄
☎098-832-1134

平成28年度 沖縄県推奨優良県産品

最優秀優良県産品賞

【その他製品の部】



アートガラス、
ドアガラス等用(錦鯉)
(株)恩納ガラス工芸
育成センター
☎(098)965-3090

【飲食料品の部】



海乃邦15年貯蔵古酒
沖縄県酒造協同組合
☎(098)868-1470

【生活用品の部】



沖縄紅型祝儀袋「結房」
(全4種)
(有)ジグゼコミュニケーションズ
☎(098)884-4651

優秀デザイン賞



【飲食料品の部】
玉葱ノンオイルドレッシング(シークヮーサー)
(株)紅濱
☎(098)870-1150

優秀アイディア賞



【飲食料品の部】
島どうふチップス(黒ゴマ、ピリ辛、チーズ胡椒、アーサ塩)
(株)あかゆら
☎(098)898-6708

第40回沖縄の産業まつり　協賛企業

第40回沖縄の産業まつりを開催するにあたり、下記の皆様に多大なるご協力を賜りました。
誠に有り難う御座いました。



■メインアーチ
沖縄電力(株)
金秀グループ
オリオンビール(株)
拓南製鐵(株)



■明治橋アーチ
琉球セメント(株)
沖縄ハム総合食品(株)



■ゆいレール奥武山公園駅アーチ
(株)ざまみダンボール
オキコ(株)



■広告塔
金秀アルミ工業(株)
琉球セメント(株)
拓南製鐵(株)
(株)ざまみダンボール







■総合案内
オリオンビール(株)、オキコ(株)、沖縄電力(株)





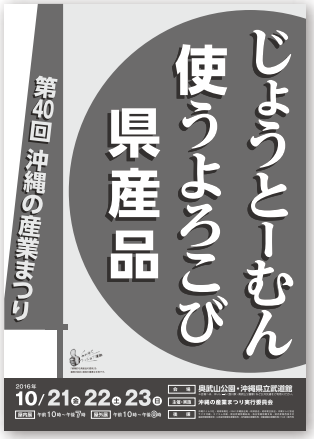
■広告板(A):**琉球セメント(株)、オキコ(株)、拓南製鐵(株)、金秀グループ、(株)久米島の久米仙、(株)ざまみダンボール、オリオンビール(株)**
■広告板(B):**沖縄県金融協会、昭和製紙(株)、沖縄県酒造組合、沖縄鋳鉄工業(株)、(株)沖縄県物産公社、(株)沖縄ガス、(株)御菓子御殿(株)技建、RGC(株)、総合紙器(株)**
■広告板(C):**(株)エムズ、(有)モダン広告、沖縄明治乳業(株)、(株)開邦工業、(株)スカイ企画、砂辺松福テント(株)、(株)サンデン企画、(株)名護鉄工所、(株)沖縄環境保全研究所、(株)沖縄ポッカコーポレーション、(有)沖縄長生薬草本社、沖縄製粉(株)、(株)ぬちまーす、沖水化成(株)、沖縄県衣類縫製品工業組合、沖縄ガルバ(株)**

【第40回沖縄の産業まつり 協賛企業】順不同

金秀アルミ工業（株）
オリオンビール（株）
琉球セメント（株）
沖縄電力（株）
オキコ（株）
拓南製鐵（株）
（株）ざまみダンボール
沖縄ガス（株）
（株）久米島の久米仙
沖縄ハム総合食品（株）
沖縄県金融協会
ＲＧＣ（株）
昭和製紙（株）
総合紙器（株）
沖縄鋳鉄工業（株）
沖縄県酒造組合
（株）技建
（株）御菓子御殿
（株）沖縄県物産公社
（株）開邦工業
（株）ぬちまーす
（株）沖縄環境保全研究所
（株）沖縄ポッカコーポレーション
沖水化成（株）
沖縄ガルバ（株）
（株）スカイ企画
砂辺松福テント（株）
（有）モダン広告
（株）エムズ
（株）サンデン企画
（株）サン食品
（有）島八工業所
（株）佐喜眞義肢
（株）日進商会
（株）ファッションキャンディ
（株）ふじ産業
（有）津嘉山ステンレス工業

（株）沖縄敷物商会
大同火災海上保険（株）
琉球肥料（株）
久米島海洋深層水開発（株）
沖縄県赤瓦事業協同組合
（有）沖縄長生薬草本社
沖電水工事（株）
沖縄県酒造協同組合
南風堂（株）
（株）サン・エージェンシー
日乃出鉄工（株）
リウコン（株）
（株）琉球新報社
（有）比嘉酒造
沖縄ツーリスト（株）
（株）千草物産
沖縄広告（株）
（株）森のガラス館
（株）大西石材沖縄
農業生産法人（株）小浜養蜂場
北部製糖（株）
（株）沖縄トータルサービス
（株）なかむら食品
（株）琉堂
（有）喜屋武商店
沖縄テレビ放送（株）
（株）沖縄ホーメル
タイガー産業（株）
（株）仲村米穀商事
（有）ハイウエイ沖縄
（株）嘉数グラビヤ
（有）海邦ベンダー工業
ＮＴＩ（株）
（株）青い海
リューセロ（株）
（株）エコファクトリー
沖縄ガスリビング（株）

海洋プランニング（株）
（株）沖縄トータル・プレカット・システム
（株）宮昌工業
（株）オキネシア
（株）バイオマス再資源化センター
（有）高江木工
沖縄森永乳業（株）
（株）沖縄多久パイププレファブ加工センター
（株）那覇ミート
沖縄ダイカポリマー（株）
福島特許事務所
（株）ミヤギパッケージ
沖縄県露店商協同組合
沖縄三和シヤッター（株）
（株）上間菓子店
（株）ホクガン
（株）まえさと
金秀バイオ（株）
（株）恩納ガラス工芸育成センター
沖縄製粉（株）
沖縄県衣類縫製品工業組合
（株）マーミヤ
（株）沖縄ゼネラルサービス
（株）名護鉄工所
沖縄明治乳業（株）



第40回沖縄の産業まつりを
開催することにあたり
多大なるご協力を賜りました。
有り難う御座いました。



水中での意思疎通が可能になる水中可視通信技術



キラリ！元気カンパニー

沖縄の未来を照らす企業

オーダーメイドで創り出す大きな付加価値

株式会社沖縄海洋工機開発

オーダーメイドのメカトロニクスで技術革新を

豊見城市の閑静な住宅街の中にあるマンションの一室に多くの機材が並びます。株式会社沖縄海洋工機開発は、メカトロニクス事業を中心に手がける会社として今年本格的に始動しました。

メカトロニクス(mechatronics)とは、メカニクス(機械工学)とエレクトロニクス(電子工学)とを結合した技術であり、機械の駆動・制御にマイクロコンピューターなどの電子技術を利用して自動化・高性能化を実現するものです。ハードディスク、CDプレーヤー、自動改札機、ATMなど身近な機器に使用されており、時計、カメラ、自動車の分野でもメカトロニクス化が急激に進んでいます。

株式会社沖縄海洋工機開発代表を務める上間英樹氏は、大手自動車メーカーで長年エンジンの開発・製造に携わり、在籍時にはエンジン内のセンサーを制御する技術開発によって特許も取得しています。自動車メーカー退職後は故郷の沖縄に戻り、水中可視通信技術の開発・研究に着手。産業用の水中機器を主に手がけ、海洋土木、海洋研究調査の分野に大きく貢献しました。

さらなる進歩と技術革新を求め、今年2月に独立。株式会社沖縄海洋工機開発代表として、これまで培った技術と経験を活かし、多くの企業や自治体から依頼を受けて製品の開発を進めています。

完全受注生産の形式を取っており、顧客のニーズに合わせた商品開発が特徴です。

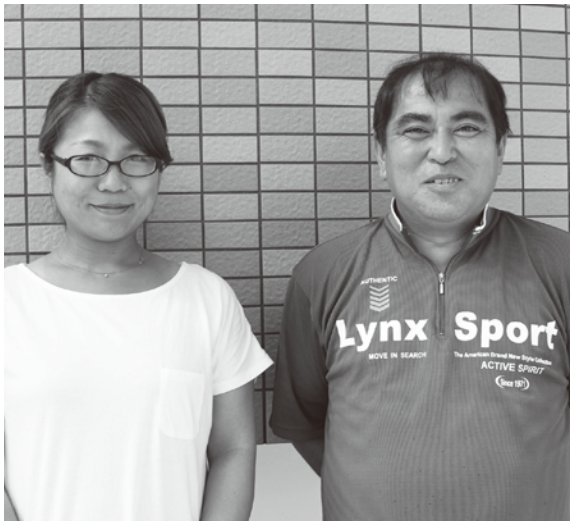
現在、かりゆしホテルズと琉球大学との共同研究により、宜野座村のかりゆしカンナタラソラグーナにおけるタラソテラピー(海洋療法)に利用する水中計測器を開発しています。体に適度な負荷がかかり、転倒などのリスクが低い水中運動は、肥満解消や生活習慣病予防に効果があるとして、幅広い世代から注目されており、水中でのゆったりとした動きを正確に計測する機器のニーズが高まっています。

また、沖縄高専とともに水中ロボットを利用した画像通信研究を進めており、この技術によって、深海や狭い場所など人間が直接調べることの難しい環境でも機器のメンテナンスといった作業が安全かつスムーズに行えるようになります。

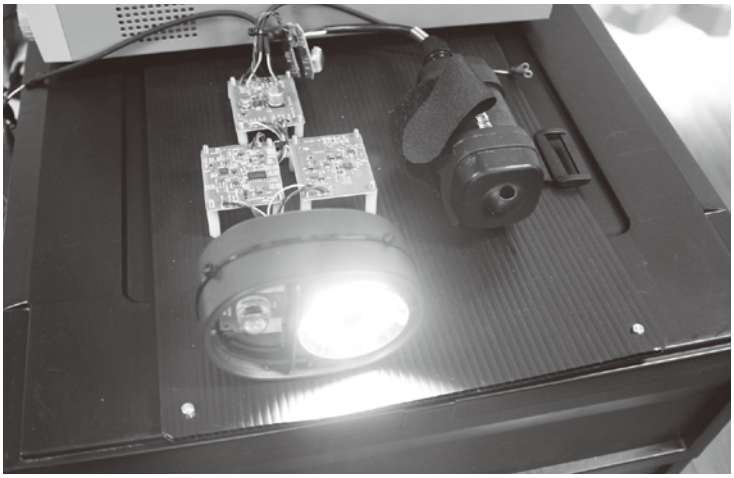
いずれも上間氏の専門であるセンサーの技術が用いられた研究であり、民間、公的事業含む多くの分野から注目を集めています。

「施設で車椅子に座ったお年寄りが手指を使ったリハビリを行っているところを見て、細かい指先の動きも数値化し、万歩計のように気軽に身につけることができる機器があれば、一日の目標値を設定することができ、単調なリハビリにも積極的に励むことができるのではないかと考えた」と上間氏は話し、常日頃新しい技術応用のアイデアを生み出しています。

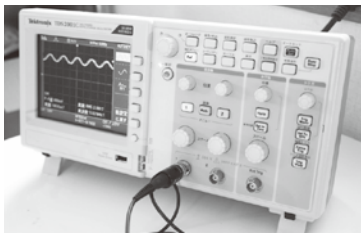
「メカトロニクスというと難しく聞こえるかもしれないが、センサーを使って距離や速度、重力など様々な数値を計測し、インターネットを通じて送信するという技術はシンプルでありながら応用がきき、産業、医療、観光などあらゆる商品や事業に役立てることができる」として、企業、団体と手を携えて新たな技術開発を進めています。



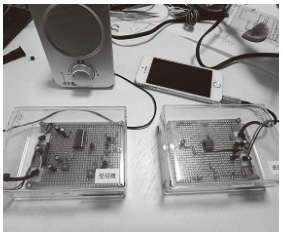
株式会社沖縄海洋工機開発
代表取締役社長　上間英樹（写真右）
研　　究　　員　玉城佳奈（写真左）








中学生自由研究受入れ


中学生自由研究成果物




実際に水中での動作確認テストを行う（写真下段）

県外では、貯蓄した雨水の量を管理したり、安全な水かどうかをチェックするなど、災害時にもセンサー技術が生かされることがわかり、防災という観点からもその価値があらためて注目されています。

メカへの憧れを次の世代へ

自動車整備士である叔父の影響で幼少時代からメカへの関心が高かったという上間氏は、大手企業から独立して新事業を立ち上げた現在、子供たちへのものづくり教育にも力を入れています。

小中学生の自由研究やインターンシップを積極的に受け入れ、物理を中心とした実験の指導をボランティアで行っています。

店で買ったシャツを自宅に持ち帰って着てみたら色が違うように感じたという経験を通じ、光の加減や角度によって同じ品物でも見え方が異なるという内容の自由研究は、身近なテーマと優れた成果が評価され、那覇市の表彰も受けました。

「難しく思える物理も、身近な品物を使った実験で楽しく学ぶことができる。子供たちが目を輝かせて実験に取り組む姿と、常識にとらわれない瑞々しい感性は、指導する立場であるはずのこちらにも新たな発見と感動を与えてくれる」と上間氏は笑顔を見せます。メカニックに接し、製造業への憧れを抱いた幼少時代の経験から、ものづくりへの関心、創造力を刺激したいと話し、後進の育成にも尽力しています。

「30、40年前の沖縄は、水や土地が充分でない、技術者が少ないといった理由で、他府県に比べて製造業が発展しにくいという状況にあったが、現在ではものづくり産業が大きく拡がっている。しかし、いまだメカニックの仕事そのものが豊富とはいえず、工業高校、大学の学生が県外企業に就職し、技術や才能が沖縄に反映されていない。沖縄県内であっても刺激的かつレベルの高い仕事ができるということを周知させていきたい」と、ものづくりの先輩としての役割について力強く語っています。

「昭和50年代に自動車開発にコンピュータが導入され、エンジンの振動をセンサーで制御することによって車の振動を抑えることに成功、60年代に入ってからは車酔いしにくい車が当たり前になってきた。コンピュータ、センサーを使った技術は今後さらに進化するが、沖縄ではいまだ取り扱っている企業は多くない。県産技術として様々な企業とタッグを組み、沖縄県の産業発展に少しでも役に立てれば」と上間氏は話し、新会社設立における熱い思いと強い意欲を見せました。



Corporate Profile

株式会社沖縄海洋工機開発

業　　種	機械の駆動・制御に電子技術を利用して自動化・高性能化を実現するメカトロニクス事業
設　　立	平成28年2月18日
代 表 者	代表取締役社長　上間英樹
住所・連絡先	豊見城市字真玉橋146番地 COMODO・HUSE・K102号室 TEL.090-1514-5066

丸正印刷株式会社 創業50周年記念祝賀会

平成28年10月1日(土)　ロワジールホテル那覇

丸正印刷株式会社創業50周年を記念する祝賀会が開催され、会場となったロワジールホテル那覇には、経済界、芸能界等各界から多くの人々が集まりました。

オープニングアクトとして、丸正印刷株式会社50年の歩みを紹介する映像が流され、その後、丸正印刷株式会社与那覇正明代表取締役社長が挨拶しました。

株式会社丸正印刷は、1966年、那覇市泉崎にて丸正印刷所として発足。翌年株式会社丸正印刷社として法人化し、1978年に丸正綜合印刷株式会社を設立。現在は西原町に本社工場を構え、沖縄県内随一の最新印刷設備を用いて、チラシ、DMなどの印刷物をはじめ、企画からデザイン・編集、広告・WEB関連など幅広く事業展開しています。

与那覇社長は、会場に訪れた依頼主や関連企業に対する感謝を述べたうえで「最新印刷機導入など様々な挑戦を繰り返しここまでやってきた。50年という長い歴史を重く受け止めつつ、これからのさらなる発展のため日々努力を積み重ねていきたい」と抱負を語りました。

創業者である与那覇正俊代表取締役会長も挨拶し、「創業当時はほとんど仕事がない苦しい状況が続き、沖縄中を駆け回って必死に働いた。紆余曲折があり、ここまでこれたのは支えてくれた家族と社員、依頼主の皆様のおかげ」と家族の労をねぎらいました。

社長夫妻から会長夫妻へ感謝をこめた花束贈呈では自然と会場があたたかい拍手に包まれました。

また、会長の盟友でもあるという株式会社琉球銀行金城棟啓(とうけい)取締役頭取(代表取締役)が来賓を代表して挨拶し、株式会社サンエー上地哲誠代表取締役社長が乾杯の音頭を取りました。

CMソングを歌うシンガーのマツモトカズト氏やアメリカでの活躍でも知られるマジシャンのMASA MAGIC(マサマジック)氏のステージパフォーマンスもあり、創業50周年を祝う記念すべき日にふさわしい華やかな会となりました。



丸正印刷株式会社
代表取締役社長 与那覇正明 氏











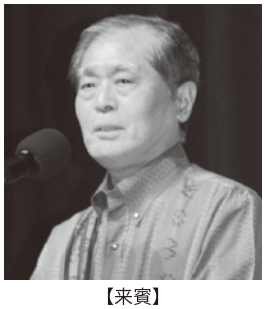




丸正印刷株式会社
代表取締役会長 与那覇正俊 氏



【来賓】
株式会社 琉球銀行
取締役頭取　金城棟啓 氏



【来賓】
株式会社 サンエー
代表取締役社長　上地 哲誠 氏



泡盛きき酒会及び琉球泡盛のタベ

平成28年11月1日(火)　ＡＮＡクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

「いい月 いい日」として「泡盛の日」に定められている11月1日、那覇市のＡＮＡクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューにて、沖縄県酒造組合による「泡盛きき酒会」と多くの愛好家が泡盛を楽しむ「琉球泡盛のタベ」が開催されました。

会場には県内各酒造所自慢の泡盛が並び、今年度の鑑評会で賞を獲得した泡盛が紹介されていました。メーカー関係者や県、市町村の職員など多くの人々が集まり、様々な種類の泡盛を堪能しました。

主催者代表として挨拶をした沖縄県酒造組合玉那覇美佐子会長は「若者の泡盛離れなどにより泡盛業界は苦境に立たされているが、泡盛の歴史や味わい深さを多くの人に知ってもらえるよう、組合員全員が一丸となって泡盛の品質向上、普及拡大に努めていきたい」と話し、会場は大きな拍手に包まれました。

泡盛の開発、普及に貢献した人物に贈られる「琉球泡盛賞」の授賞式では、沖縄県工業試験場の食品室長として様々な研究に携わり、酵母研究の第一人者として知られる照屋比呂子氏が受賞。玉那覇会長より賞状と記念品が贈られました。

別室で行われた「きき酒会」では、パッケージを伏せられた複数の種類の泡盛を試飲して、種類や度数を当てる催しに多くの参加者が挑戦し、賑わいを見せました。昨年に続き二度目の参加という那覇市の男性は「自信はあったが当てることができず悔しかった。来年もまた再挑戦したい」とほろ酔いで話していました。

県内各メディアも取材に訪れ、泡盛について学び、愛好家同士の交流を深めるイベントとして各方面から関心が高まっていることがわかる有意義な夜となりました。



沖縄県酒造組合
玉那覇美佐子 会長


●泡盛きき酒会









沖縄県酒造組合 玉那覇会長から表彰を受ける沖縄県工業試験場 照屋比呂子 食品室長(写真右)






●琉球泡盛の夕べ

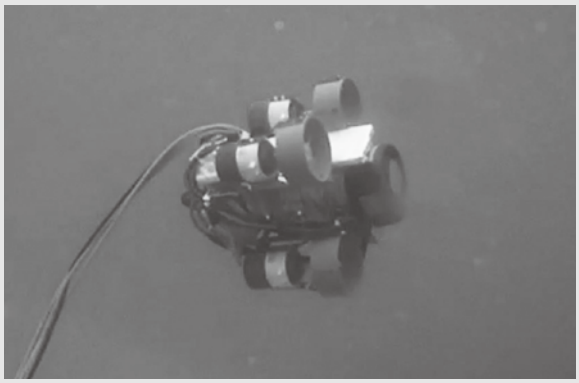
琉球大学工学部後援会からのお知らせ



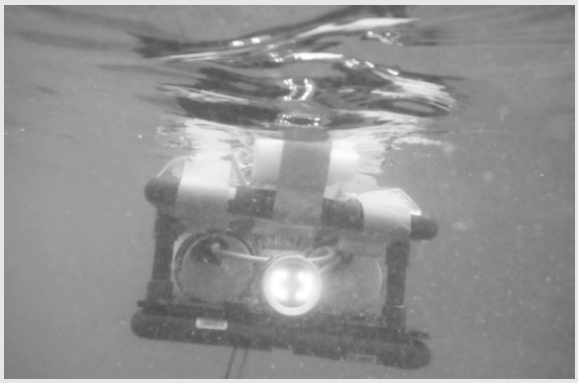
海洋ロボットの開発と人材育成について

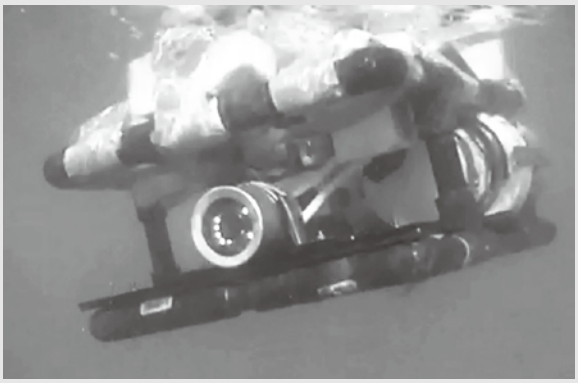
琉球大学工学部機械システム工学科・教授　金城寛(kinjo@tec.u-ryukyu.ac.jp)

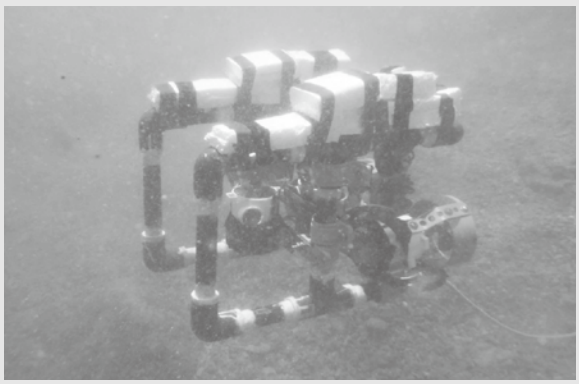
近年、海底熱水鉱床やメタンハイドレートなどの海底資源が日本近海に豊富に存在していることが分かってきました。これら海底資源の探索や掘削は日本にとって重要な産業になり得ると理解され、官・民・学を横断した様々な開発プロジェクトが立ち上がっています。しかしながら、海底資源の開発には陸上とは異なる困難さがあり、簡単ではありません。海洋の開発と産業化のためにはそれを駆使できる技術者が不可欠です。本研究室では海洋ロボットの開発を通して、海洋産業で活躍できる技術者の育成を目指しています。下記の画像は本研究室で開発した海洋ロボットです。

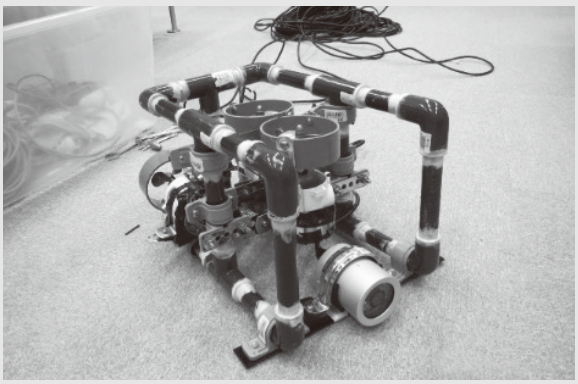








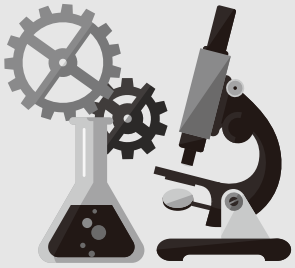




琉球大学工学部後援会事務局

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地　TEL:098-895-8719　FAX:098-988-4614

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology



「やんばるの産業まつり」と「沖縄の産業まつり」に出展しました

沖縄高専では、10月8日（土）9日（日）に「第32回やんばるの産業まつり（名護市21世紀の森体育館）」と、10月21日（金）～23日（日）に「第40回沖縄の産業まつり（奥武山運動公園・沖縄県立武道館）」に出展しました。

当日は、本校の各学科の紹介、保有技術や研究成果等をパネル展示し、新しい知の現場や産業の芽を紹介しました。

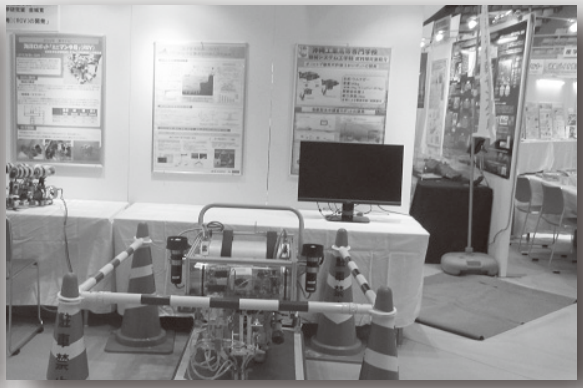
また、「沖縄の産業まつり」では、第40回を記念し企画された海洋産業特別展にて、機械システム工学科武村研究室の学生が開発に携わったカメラが搭載されたオニヒトデ駆除用酢酸注射ロボットを展示し、マスコミ各社及び来場者に大変興味を持っていただきました。その他にも生物資源工学科池松研究室の琉レン草（サンカクシビラン）配合茶の試飲でも来場者の大変興味を引き、商品化への要望が多数ございました。

どちらのイベントも来場者が途切れることなく続き、また、多くの質問が寄せられるなど好評を博し、本校への興味や理解をより深めていただくことができました。

今後も地域経済や社会のニーズに的確に応えていける高等教育機関として、教育・研究活動に励んでまいります。



保有技術や研究成果等のパネル展示



オニヒトデ駆除用酢酸注射ロボットの展示

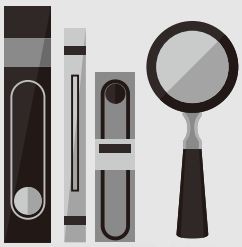


琉レン草配合茶の試飲



沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局（担当：喜屋武）
〒905-2192 名護市字辺野古905番地　TEL：0980-50-0133・FAX：0980-55-4012
E-mail：sangaku@m1.cosmos.ne.jp　ホームページ：http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/

NOKAIDAI
沖縄職業能力開発大学校



沖縄ポリテックフェスタ2016のご案内



※地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”の悩み解決を行いたいと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　沖縄職業能力開発大学校（援助計画課：岡村・赤嶺）
〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2　TEL. 098-934-4810　FAX. 098-934-6287
●メルマガ会員募集中 http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html　●ホームページ http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/

工業技術センターだより
Okinawa industrial technology center
＜伸びゆく沖縄・支える技術＞

機能評価研究に関係する機器のご紹介

工業技術センターは、沖縄の生物資源を活用した健康食品分野やバイオ技術を応用した産業分野での製品開発、品質管理、科学的エビデンスの取得などにおける機能評価試験でご利用いただける機器を多数保有しています。その中で、特に利用の多い機器4種をご紹介します。

機器の紹介

❶自動高速溶媒抽出装置

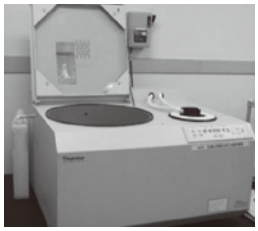
生物素材中の有用成分を少ない溶剤（主に水、アルコールなど）により高温、高圧、窒素雰囲気下で迅速に抽出することのできる装置です。短時間に窒素雰囲気下で抽出することで、成分の分解を抑えることができるとともに、多数の素材を効率よく処理することができます。



●**サーモサイエンティフィック社製 Dionex ASE 350**
圧力：1500psi、温度範囲：室温~200℃、試料セル容量：~99mL

❷遠心エバポレーター

溶剤で抽出した液から、溶剤を安全に除去できる装置です。遠心力を用いることで、減圧下でも突沸することなく効率的にエキスを処理することができます。また、閉鎖系であるため溶剤による実験室の汚染もなく、人にも優しい装置です。



●**サーモサイエンティフィック社製 Savant SpeedVac SPD2010**
利用可能な容器：マイクロプレート、試験管、遠沈管など

❸インキュベーター

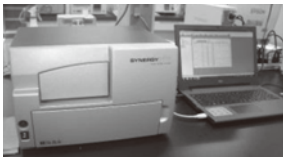
細胞や微生物を、温度や湿度を一定に保ち培養するための装置です。細胞を用いた機能評価や、細菌などの微生物を用いた試験を行う場合に使用します。また、製品の賞味期限を定めるための、保存安定性試験にも使用することができます。



●**井内社製、サンヨー社製など**
低温、恒温恒湿、高温、CO2など各種

❹マルチモードプレートリーダー

酵素を用いた機能評価などを、吸光度、蛍光、発光を測定することにより行うことができる装置です。一度に多くの試料の測定を行わなければならない場合、各種マイクロプレート（24穴、96穴、384穴など）を使用することで効率的に評価試験を行うことができます。



●**Bio-Tek社製 Synergy HTXマルチモード・プレートリーダー**
測定モード：吸光度／蛍光／発光、各種マイクロプレート

その他様々な装置をご利用いただけます。詳しくはお問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。

工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発の支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター（技術支援班／企画管理班）

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2　**TEL::098-929-0111・FAX:098-929-0115**
E-mail：kousi@pref.okinawa.lg.jp（メルマガを始めています。）
●**ホームページ：http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html**

「働き方改革」に向けた取組に関する要請

10月17日に長時間労働削減をはじめとする「働き方改革」に関する協力依頼のため、沖縄労働局の大嶋直樹労働基準部長が本会を訪問されました。以下に要請内容を紹介します。

県内景気の拡大により沖縄の雇用・労働環境は新たなステージに入っており、産業と雇用の好循環を実現させ、県経済の持続的発展と生産性を向上させるために、また、女性や高齢者をはじめとするすべての人々が社会で活躍できるためにも、安心して働くことができる雇用・労働環境を整備・改善することは重要であります。



しかしながら、沖縄においては、週の労働時間60時間以上である方の割合は6.3%と、全国（8.2%）を下回るものの依然として長時間労働の問題が認められ、常用雇用労働者の年次有給休暇取得率も50%前後の低い水準で推移しており、長時間労働の削減を始めとした働き方の見直しが求められています。

こうした中、平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」や「日本再興戦略2016ー第４次産業革命に向けてー」において、働き方改革の実行・実現のため長時間労働の是正に向けた取組を強化する旨が盛り込まれました。また、政府全体としても、去る9月2日に「働き方改革実現推進室」を設置するなど、長時間労働の是正を含めた働き方改革実現に向けた取組を開始しています。

この長時間労働問題については、厚生労働省では厚生労働大臣を本部長とする「長時間労働削減推進本部」を設置し、

1 著しい過重労働や賃金不払残業などを行う企業の撲滅に向けた監督指導の強化
2 休暇の取得促進をはじめとした「働き方の見直し」に向けた企業への働きかけの強化

を2つの柱として、省を挙げて取り組んでまいりました。特に監督指導については、本年４月に、月残業100時間超から80時間超のすべての事業場へ監督対象を拡大するなど、その取組を強化したところであり、沖縄労働局においても同様に取り組んできたところです。また、平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法（平成26年法律第100号）」において、11月は過労死等防止啓発月間とされております。そのため、本年も、昨年に引き続き10月を「年次有給休暇取得促進期間」11月を「過重労働解消キャンペーン」期間と定め、長時間労働削減の取組を推進することとしました。

長時間労働の削減や年次有給休暇の取得促進のためには、これまでの働き方を見直し、効率的な働き方を進めていくことが必要です。このため、長時間労働を前提としたこれまでの労働慣行から、早く帰る労働慣行への転換を図るための施策や年次有給休暇を取得しやすい雰囲気を醸成するための施策等、各々の企業の実情に応じた取組を行うことが望まれます。具体的には、経営トップによるメッセージの発信、朝型勤務やフレックスタイム制、年次有給休暇の計画的付与制度などの導入、ノー残業デーや年次有給休暇取得奨励日の設定、年次有給休暇取得計画の策定、年次有給休暇取得による連休の実現（「プラスワン休暇」）のほか、ボランティア休暇をはじめとする、働く方々の実情に応じた特別な休暇制度の導入等が挙げられます。

これまでも貴団体からは、傘下団体・企業等への働き方改革や夏の生活スタイル変革に関する周知啓発に関し格別の御協力を賜ってきたところでありますが、改めてこの取組趣旨を御理解いただき、傘下団体・企業等に対します周知啓発に向けた御協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

沖縄県産品
マーク表示制度
について

自社製品のピーアールに「県産品マーク」を使用してみませんか？

公益社団法人 沖縄県工業連合会

沖縄県産品マーク

県産品マークとは…

県内で製造・加工された県産品に、「沖縄県産品マーク」を表示することによって、消費者等が県産品と県外産との識別を容易にしていただくと同時に、消費者と安心・安全な県産品をつなぐ有効な手段として、公益社団法人沖縄県工業連合会が昭和61年に「沖縄県産品マーク表示制度」を定めたものです。現在では、食品、生活用品、建設資材、工芸品など多くの県産品に利用されています。

1 沖縄県産品マーク表示申請資格

(1) 県内で事業を営む業者であって本会の会員であること。
(2) 県内で製造された製品で本会が認めたもの。
(3) 製造、又は販売について法令の定めるところにより許可を必要とする場合は当該許可等を受けたものであること。

2 沖縄県産品マーク表示対象品

県内で生産・製造、又は主たる加工がなされた加工品、家庭雑貨、工芸品、建材等、沖縄県産品マークの表示を必要とする全ての県産品。

3 申請方法

所定の表示申請書を作成し本会へ申請する。

4 申請料金

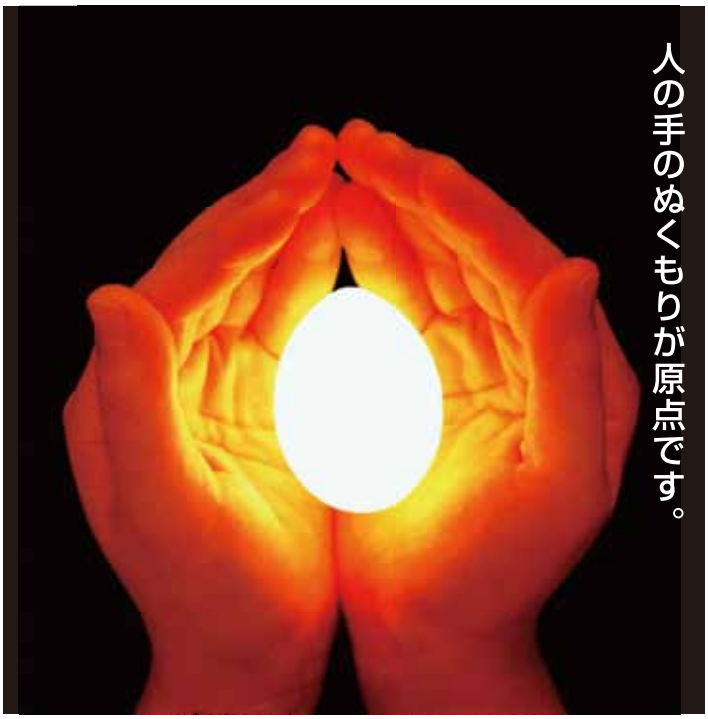
1製品につき30,000円



県産品マークに関するお問い合わせ／公益社団法人沖縄県工業連合会　TEL：098-859-6191　担当：川満

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。





お客様の事務効率を推進するお手伝い
紙・事務用品・ダンボールの店

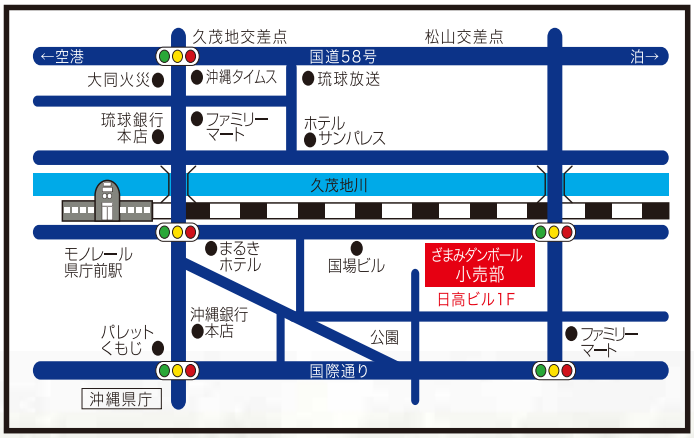
ざまみ

ペーパー&オフィスBOX
サプライ

この看板が目印です。

ざまみダンボール
小売部

〒900-0015 那覇市久茂地3丁目22番地1号
電 話(098)867-0131 FAX(098)866-9641



必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。
県産品を心で包むお手伝い。

株式会社ざまみダンボール
ダンボール・紙・文具・事務用品・事務機・OA機器の総合販売商社

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町4丁目7番
TEL(098)992-1616 FAX(098)992-1155